



Title	一九六〇年代における林業地帯の社会党票
Author(s)	荒木, 俊夫; ARAKI, TOSHIO
Description	資料
Citation	北大法学論集, 21(1), 91-107
Issue Date	1970-08
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/27892
Type	departmental bulletin paper
File Information	21(1)_P91-107.pdf



一九六〇年代における 林業地帯の社会党票

荒木俊夫

四四年衆議院選挙における北海道の社会党得票率は、二三・二二%であった。第一表は全道二一六市町村を四四年選挙において社会党の得票率の高かった順位に並べたものである。それを図示すると第一図のようになる。

二二六の市町村のうち、二七・四%から二〇・〇%までの得票率を示した市町村が八五を数え、全体のほぼ四割になる。それよりも高い、つまり二七・五%以上の市町村が六六、それよりも低い、つまり二〇・〇%未満の市町村が六五あり、それぞれ全体のほぼ三割にあたる。

社会党の得票率の高かったところとして、林業地帯の町村が特

に目立っている。

林業地帯の町村三九のうち、二四町村、つまり六割が得票率の高い(二七・五%以上)町村である。いいかえると、得票率の高い町村六六のうち、四割に近い町村が林業地帯の町村ということになる。残り一五の林業地帯の町村のうち、一三が平均に近く(二七・四%―二〇・〇%)、低い町村(二〇・〇%未満)は二つ(門別、美深)を数えるにすぎない。

林業地帯の町村のうちでも、網走、十勝、上川を中心とする道東、道央の町村と日高地方を中心とする道南の町村とは、社会党得票率に差がみられる。後者は前者に比べ、それ程社会党得票

率が高いとは云えない。

日高地方を中心とする道南の七つの町村(日高、穂別、平取、厚沢部、静内、新冠、門別)は、すべて平均に近いところ(二七・四%—二〇・〇%)ないし、低いところ(二〇・〇%未満)である。林業地帯の町村のうち平均に近いところに入る残り八つの町村(標津、猿払、浦幌、西興部、佐呂間、歌登、上湧別、美深)は美深を除き、林業就業者の割合が比較的低い(一五・〇%以下)町村である。ちなみに、三九の林業地帯の町村のうち、林業就業者の割合が比較的低い(一五・〇%以下)町村は一九町村である。

鉱業地帯の市町村においても、社会党の得票率が高かった。

二〇の鉱業市町村のうち、一一が高く、七つが平均に近く、低いところに入るのは、二つにすぎない。

以上の林業地帯と鉱業地帯の市町村の他に社会党の得票率の高いところとして特に目につくのは、候補者の出身地等のように候補者と地縁的なつながりがあるとみられる町村である。

社会党の得票率のきわだつて高かった東神楽、幕別、江差、剣淵、池田、等の町村がそれである。

市部においては、社会党の得票率が必要しも高いとは云えない。市部平均が二二・五%、郡部平均が二四・三%であり、四四年選挙ではむしろ郡部の方が高かったのである。

二九の市ごとにもみても、高いところに入るのは八つ、平均に近いところに入るのが一五、低いところに入るのが六つであり、しかも高いところに入る八つの市は、砂川、釧路を除きすべて上述した鉱業市である。

四四年衆議院選挙にみられた社会党得票率についての以上のような特徴は、九年前の三五年衆議院選挙においてはどのようなものであつたらう。三五年選挙における社会党の北海道平均の得票率は、二九・四%であつたから、四四年選挙はそれより六・二%と大きく減少したことになる。しかも、四四年では三五年と比べ有権者数がおよそ六三万増加していたにもかかわらず、社会党の得票数は二八万票減少した(第三表参照)。

三五年選挙の社会党得票率を二二六の市町村別にみると、三二・四%から二〇・〇%までの得票率を示した町村が一〇〇、それよりも高い、つまり三二・五%以上の町村が五七、それよりも低い、つまり二〇・〇%未満の町村が五九ある。四四年選挙と比べ各市町村の得票率のばらつきが大きかったと云える。いいかえると、四四年選挙の社会党得票率は、三五年選挙と比べ各市町村ごとに減少する方向でより均一化されたということになる。

特に目立つことは、鉱業地帯の市町村が、四四年に比べはるかに高かったことである。

二〇の鉱業市町村のうち一五が得票率の高い(三二・五%以上)市町村であり、四つが平均に近く(三二・四%—二〇・〇%)、低い(二〇・〇%未満)市町村は一つにすぎない。

市部では、四四年と異なり社会党の得票率は高かった。市部平均三二・〇%に対し、郡部平均二六・五%であり、五・五%上回っていた。

各市ごとに見ると、二九市のうち一一市が高いところに、一七が平均近く、低いところは一つにすぎない。

三五年選挙においても、林業地帯の町村は社会党の得票率が高かったと云えるが、四四年選挙ほどにはきわだってはいなかった。

三九の林業地帯の町村のうち、一六およそ四割が高い(三二・五%以上)町村であり、一九、およそ五割が平均に近い(三二・四%—二〇・〇%)町村、残り四つが低い(二〇・〇%未満)町村であった。

また三五年においても同じように日高地方を中心とする道南の林業地帯の町村と道東、道央の町村との差がみられる。

道南の林業地帯の七つの町村はすべて平均に近いか、ないしは、低いところの町村であり、しかも、そのすべては郡部平均二六・五%以下である。

以上のように林業地帯の各町村は四四年選挙では、三五年選挙以上に、全体の市町村の関係において相対的に高い得票率を示していると云えよう。しかし、このことは、全般的に社会党の得票率が低下しているから、林業地帯の各町村の得票率が増加したことを必ずしも意味しない。むしろ、林業地帯においても得票率が低下した町村の方が増加した町村よりもその数が若干多い。

第二表に示したように、林業地帯の町村のうち、四四年と三五年とで得票率の増減にほとんど変化のなかった(増減幅が二・〇%未満)町村が一四、四四年の方が増加した(二・〇%以上増加)町村が八つ、減少した(二・〇%以上減少)町村が一七である。

しかしながら他方、北海道全体の市町村をとりあげてみると、減少、あるいは大幅に減少した町村が多いから、林業地帯の町村のなかでは減少した町村の方が多いといっても、全体に比して割合安定していたと云ってよい。

第二表に示したように、全体の二一六の市町村のうち、大幅に減少した(六・〇%以上)市町村は五七、減少した(五・九%—二・〇%)市町村は五五、増減にほとんど変化のない(増減幅が二・〇%未満)町村が六八、増加した(二・〇%以上)町村が三六である。林業地帯の町村は、これと比べる

第2表 社会党得票率の増減と有権者数の増減

		大幅に減少	減少	増減なし	増加
北海道全体	計	57 (26%)	55 (25%)	68 (31%)	36 (17%)
	+	20	15	10	5
	○	21	28	41	24
	-	16	12	17	7
林業地帯	計	8 (21%)	9 (23%)	14 (36%)	8 (21%)
	+	0	1	1	0
	○	4	5	9	6
	-	4	3	4	2

- ・「大幅に減少」「減少」「増減なし」「増加」は社会党得票率がそれぞれ「6.0%以上減少」「5.9%—2.0%減少」「1.0%未満の増減」「2.0%以上の増加」を意味する。
- ・「+」「○」「-」は、35年有権者数を100とする44年の指数がそれぞれ「111以上」「110—90」「89以下」を意味する。

と減少、ないし大幅に減少した町村の割合が若干低く、逆に増加及び増減に変化のなかった町村の割合が若干高い。

北海道全体として、社会党の得票率が減少ないし大幅に減少した市町村は、有権者数の増減の幅が大きかったところに多く、逆に得票率が増えないし増減にあまり変化のなかった町村は、有権者数の増減の幅がそれ程なかったところが多いと云えそうである。

つまり、社会党の得票率は人口移動の激しかった地域（鉱業市と都市）において減少し、比較的安定（停滞）した地域において、安定ないし増加の傾向にあると云うことになる（第2表参照）。

社会党の得票率が増えないしあまり変化しなかった林業地帯の町村には、上川地方と道南の町村が多く、逆に減少ないし大幅に減少した町村には、網走、十勝、宗谷の町村が多かった。

得票率の増加した（二・〇%以上）林業地帯の町村八つのうち標津、鶴居、足寄を除く五つ（上川、下川、厚沢部、穂別、新冠）は、上川地方と道南の町村であり、逆にこれらの地域の林業地帯の町村で減少した（二・〇%以上）のは、占冠、静内の二町村にすぎない。ちなみにこれらの地域で増減にあまり変化のなかった町村は、五つである。上川地方の町村は、林業地帯の町村に限らず、四四年選挙では、三五年選挙よりも社会党の得票率が平均して二・〇%増加している。

（三五年、二七・一%、四四年、二九・一%）これは、三五

第3表

	A 全道 有権者 道数	B 全道 社会党 得票数	C 林業地帯 社会党 得票数	D 鉱業地帯 社会党 得票数	E 大都市 社会党 得票数	C B	D B	E B
35年選挙	2,739,004 (100)	805,749 (100)	71,424 (100)	152,839 (100)	257,152 (100)	8.8	18.9	31.9
44年選挙	3,368,986 (123)	783,144 (97)	65,801 (92)	90,947 (59)	291,557 (113)	8.4	11.6	37.2

年選挙においてこの地方を主たる地盤としていた保守系の二候補が、四四年選挙の段階では立候補していなかったため、三五年に彼らに投じられていた票の幾分か、社会党候補に動いたという事情を反映していると推察される。これに対し、日高地方の町村では平均して、二・二%減少しているから、社会党の得票率が安定していたということ、林業地帯の町村に限って云えることになる。他方得票率の減少した(二・〇%以上)林業地帯の一七の町村は、四つ(白糠、音別、占冠、静内)を除き、すべて網走、十勝、宗谷の町村(置戸、白滝、猿払、丸瀬布、中頓別、佐呂間、津別、新得、西興部、歌登、浦幌、上士幌、陸別)である。これら地方の林業地帯の町村で増加したのは足寄一つだけである。

四四年選挙において林業地帯の町村では、三五年選挙におけるよりも社会党の得票率が減少したところが幾分か多かったばかりでなく、社会党の得票数そのものもおよそ五六〇〇票減少した(第三表参照)。上述したように、北海道全体でも社会党得票数が減少しているが、三五年の社会党得票数を一〇〇とした場合、林業地帯の町村では九二、北海道全体では九七であるから、林業地帯における得票数の減少度は北海道全体に比しても大きかったことになる。予想されるように、鉱業地帯の市町村ではその指数が五九と大幅に減少した。鉱業地帯、林業地帯における社会党の得票数の減少に対し、札幌を始めとする大都市での得票数は増加した。

札幌、小樽、旭川、函館、室蘭、釧路の有権者数五万以上の都市に於ける三五年の得票数を一〇〇とすると四四年は一三三である。

北海道の社会党の総得票のうちで、鉱業、林業地帯の社会党票が占めていた割合が低下し、代りに都市の社会党票の割合が増大したのである。六〇年代を通して、北海道の社会党は全般的な後退の中で、より都市有権者に依存することになったと云えよう。

(1) 本稿で使われる「得票率」は、通常用いられる得票率と異なり、得票数と有権者数(投票者数+棄権者数)の百分

比である。

- (2) 本稿でいう「林業地帯の町村」とは、各町村の林業就業
者数と木材木製品製造業就業者数との合計の全就業者数に
対する割合が、およそ一〇・〇％以上の町村のことであ
る。およそというのは、木材木製品製造業就業者数が把握
出来ない町村が若干あるからであるが、製造業就業者全体
から推定して、林業就業者数との合計比が一〇・〇％以上
になると思われる町村を抽出した。林業地帯の町村は、三
九である。同様に、「鉱業地帯の市町村」とは、鉱業就業者
数の全就業者数に対する割合が一〇・〇％以上の市町村の
ことである。第一表に、林業地帯及び鉱業地帯の市町村に
ついては、それぞれ就業者数の割合を示した。なお、林業
就業者数、鉱業就業者数については、四〇年国勢調査を、
木材木製品製造業就業者数については、四二年工業統計を
使用した。

- (3) 美深は自民党候補松浦周太郎の居住地である。
(4) 四三年参議院選挙における社会党については、小川晃一、
荒木俊夫「北海道における四三年参議院選挙の分析」(北
海学園法学研究第五卷一号)参照。林業地帯の町村は、四
三年選挙においても、同じように社会党の得票率が高かつ
た。

- (5) 三五年選挙時には、北海道の市町村の数は二二六であつ
たが、四四年選挙との比較の便宜上、その後合併、統合さ

れた町村は、合計して取扱った。

第1表 有権者数と社会党の得票率(数)

市 町 村	35 年 有権者数	35年有権者 数を100と した44年有 権者数	35年得票率(数)	44年得票率(数)	35年得票率(数)と 44年得票率(数)と の差	林業木材業	鉱 業
東 神 楽	3,876	97	75.2 (2,914)	65.3 (2,458)	- 9.9 (- 456)		
幕 別	9,001	119	44.6 (4,017)	55.7 (5,990)	11.1 (1,973)		
阿 寒	10,847	97	45.0 (4,886)	51.1 (5,111)	6.1 (225)		28.0
中 札 内	2,624	97	55.6 (1,460)	47.7 (1,226)	- 7.9 (- 234)		
江 差	8,506	112	23.3 (1,982)	43.2 (4,131)	19.9 (2,149)		
剣 淵	4,682	94	49.4 (2,315)	42.6 (1,892)	- 6.8 (- 423)		
上 砂 川	15,929	71	54.5 (8,676)	42.1 (4,762)	-12.4 (- 4,914)		47.7
追 分	3,876	98	45.6 (1,769)	42.1 (1,609)	- 3.5 (- 160)		
上 川	7,074	102	33.0 (2,332)	40.1 (2,903)	7.1 (571)	18.6	
神 恵 内	1,876	89	36.2 (680)	40.0 (668)	3.8 (- 12)		
下 川	8,299	90	33.9 (2,810)	39.7 (2,992)	5.8 (182)	20.2	13.4
三 笠	31,262	90	51.6 (16,136)	38.9 (11,056)	-12.7 (- 5,080)		38.8
音 威 子 府	2,112	83	36.9 (782)	38.6 (681)	1.7 (- 101)		
丸 瀬 布	4,036	87	48.1 (1,942)	38.3 (1,358)	- 9.8 (- 584)	44.2	
池 田	8,829	119	39.0 (3,444)	38.0 (3,495)	- 1.0 (51)		
音 別	5,182	96	43.4 (2,251)	37.9 (1,897)	- 5.5 (- 384)	8.2+ α	25.5
夕 張	56,786	86	54.7 (31,065)	37.0 (17,941)	-17.7 (-13,124)		39.8
南 富 良 野	5,239	90	37.6 (1,969)	37.0 (1,752)	- 0.6 (- 217)	17.3	
歌 志 内	21,442	63	47.6 (10,200)	36.8 (5,006)	-10.8 (- 5,194)		53.8
登 別	15,015	185	40.3 (6,047)	36.3 (10,129)	- 4.0 (- 4,082)		
朝 日	3,552	88	35.0 (1,242)	36.2 (1,133)	1.2 (- 109)	26.8+ α	

1960年代における林業地帯の社会党票

市 町 村	35 年 有権者数	35年有権者 数を100と した44年有 権者数	35年得票率(数)	44年得票率(数)	35年得票率(数)と 44年得票率(数)と の差	林業木材業	鉱 業
上 士 幌	5,468	106	38.8 (2,119)	35.4 (2,064)	- 3.4 (- 55)	20.8	
赤 平	30,796	75	46.3 (14,271)	34.7 (8,037)	-11.6 (- 6,234)		39.7
浜 益	4,351	79	30.8 (1,339)	34.2 (1,179)	3.4 (- 160)		
東 川	5,643	97	32.6 (1,840)	33.3 (1,825)	0.7 (- 15)		
留 辺 薬	10,939	100	32.1 (3,510)	32.6 (3,596)	0.5 (86)	26.2	
置 戸	6,574	90	42.2 (2,772)	32.2 (1,908)	-10.0 (- 864)	15.9+ α	
清 里	5,560	103	31.2 (1,733)	32.1 (1,851)	0.9 (118)	9.5+ α	
生 田 原	3,869	83	30.0 (1,160)	31.8 (1,029)	1.8 (- 131)	28.5	
浜 頓 別	4,409	107	32.1 (1,415)	31.7 (1,506)	- 0.4 (91)	14.2	
砂 川	17,314	100	47.1 (8,137)	31.6 (5,486)	-15.5 (- 2,651)		
留 寿 都	1,959	82	40.5 (794)	31.6 (501)	- 8.9 (- 293)		
共 和	7,369	85	29.6 (2,181)	31.5 (1,994)	1.9 (- 187)		
厚 真	5,351	94	17.1 (914)	31.4 (1,586)	4.3 (672)		
津 別	7,959	104	37.3 (2,972)	31.3 (2,594)	- 6.0 (- 378)	28.8	
新 得	7,194	98	36.7 (2,639)	31.2 (2,223)	- 5.5 (- 416)	17.1	
蘭 越	6,877	89	28.4 (1,952)	31.0 (1,904)	2.6 (- 48)		
斜 里	9,501	110	33.5 (3,187)	30.9 (3,252)	- 2.6 (70)		
忠 類	1,881	93	29.3 (552)	30.9 (605)	1.6 (53)		
釧 路(市)	76,243	159	37.1 (28,253)	30.6 (37,270)	- 6.5 (9,017)		
大 樹	6,045	93	39.0 (2,357)	30.3 (1,722)	- 8.7 (- 635)		
足 寄	10,508	92	27.3 (2,865)	30.1 (2,920)	2.8 (55)	19.0	
黒 松 内	3,954	87	33.3 (1,318)	30.1 (1,040)	- 3.2 (- 278)		

1960年代における林業地帯の社会党票

白	滝	2,426	81	43.0 (1,042)	30.1 (597)	-12.9 (- 445)	30.3	
標	茶	8,510	105	28.9 (2,459)	30.0 (2,701)	1.1 (242)	9.2+ α	
陸	別	4,784	96	33.3 (1,593)	29.9 (1,373)	- 3.4 (- 220)	34.1	
	頓	3,787	90	37.3 (1,411)	29.6 (1,010)	- 7.7 (- 401)	22.5	
中	瑛	11,936	102	24.2 (2,877)	29.3 (3,575)	5.1 (698)		
美	上	7,379	82	29.9 (2,207)	29.3 (1,778)	- 0.6 (- 429)	26.2	
滝	別	37,521	77	42.0 (15,766)	29.2 (8,528)	-12.8 (- 7,238)		22.3
芦	居	2,303	83	26.4 (609)	29.2 (562)	2.8 (- 47)	14.8	
鶴	川	3,602	81	25.1 (903)	29.1 (850)	4.0 (- 53)		
中	頓	5,324	90	33.4 (1,776)	29.0 (1,395)	- 4.4 (- 391)		
豊	安	10,347	121	38.9 (4,027)	28.9 (3,628)	-10.0 (- 399)		
俱	知	4,060	84	34.1 (1,385)	28.7 (981)	- 5.4 (- 404)		11.7
壮	茂	3,567	92	37.3 (1,332)	28.7 (947)	- 8.6 (- 385)		
喜	別	3,495	90	32.8 (1,145)	28.7 (904)	- 4.1 (- 241)		
幌	延	5,971	99	29.1 (1,740)	28.6 (1,707)	- 0.5 (- 33)		
小	水	50,483	70	43.8 (22,132)	28.5 (10,199)	-15.3 (-11,933)		18.7
美	倶	5,946	94	23.9 (1,424)	28.5 (1,596)	4.6 (172)		
和	寒	1,886	80	34.3 (647)	28.5 (431)	- 5.8 (- 216)	26.8	
占	冠	8,666	100	27.3 (2,365)	28.4 (2,486)	1.1 (121)		
長	部	10,764	96	36.5 (3,924)	28.1 (2,923)	- 8.4 (- 1,001)	15.8	
白	糠	3,030	91	34.5 (1,044)	28.0 (776)	- 6.5 (- 268)		
更	別	7,756	133	22.3 (1,890)	27.9 (2,890)	5.6 (1,000)		
中	津	6,765	117	29.2 (1,972)	27.5 (2,180)	- 1.7 (208)	12.5	
弟	屈	9,221	107	34.3 (3,159)	27.4 (2,715)	- 6.9 (- 444)		
芽	室	3,276	87	26.2 (858)	27.3 (782)	1.1 (- 76)	39.4	
日	高							

案
証

市 町 村	35 年 有権者数	35年有権者 数を100と した44年有 権者数	35年得票率(数)	44年得票率(数)	35年得票率(数)と 44年得票率(数)と の差	林業木材業	鉱 業
大 滝	2,016	67	27.1 (546)	27.3 (374)	0.2 (- 172)		
穂 別	5,075	79	23.3 (1,183)	27.0 (1,090)	3.7 (- 93)	13.1	11.8
江 別	20,016	192	33.4 (6,682)	26.7 (10,301)	- 6.7 (- 3,619)		
士 別	21,090	104	27.4 (5,773)	26.4 (5,849)	- 1.0 (76)		
京 極	3,823	91	31.7 (1,212)	26.4 (921)	- 5.3 (- 291)		
赤 井 川	1,526	83	29.2 (446)	26.4 (338)	- 2.8 (- 108)		
標 津	4,170	110	21.3 (888)	26.3 (1,210)	5.0 (322)	11.4	
仁 木	4,199	101	28.4 (1,192)	26.1 (1,112)	- 2.3 (- 80)		
本 別	9,025	109	30.4 (2,741)	26.0 (2,559)	- 4.4 (- 182)		
広 島	3,805	150	33.4 (1,270)	25.7 (1,468)	- 7.7 (198)		
釧 路(村)	3,701	112	26.6 (986)	25.6 (1,068)	- 1.0 (82)		
富 良 野	18,690	113	29.2 (5,453)	25.5 (5,411)	- 3.7 (- 42)		
奈 井 江	10,431	70	40.0 (4,171)	25.5 (1,864)	-14.5 (- 2,307)		21.2
今 金	7,179	95	18.3 (1,316)	25.5 (1,753)	7.2 (437)		
平 取	6,978	96	25.4 (1,771)	25.5 (1,714)	0.1 (- 57)	23.9	
遠 別	4,310	100	24.5 (1,054)	25.5 (1,098)	1.0 (44)		
栗 沢	14,042	81	36.4 (5,115)	25.3 (2,881)	-11.1 (- 2,234)		17.4
初 山 別	2,753	79	24.7 (680)	25.3 (553)	0.6 (- 27)		
猿 払	4,213	69	35.5 (1,495)	25.2 (736)	-10.3 (- 759)	8.2 + α	15.3
真 狩	2,622	86	28.1 (737)	25.1 (572)	- 3.0 (- 165)		
室 蘭	76,725	138	39.3 (30,178)	25.0 (26,498)	-14.3 (- 3,680)		
愛 別	5,416	94	17.8 (963)	25.0 (1,181)	7.2 (218)		

北法21(1・100)100

1960年代における林業地帯の社会党票

士	幌	5,102	92	39.1 (1,996)	25.0 (1,178)	-14.1 (- 818)		
比	布	4,477	99	29.1 (1,305)	25.0 (1,117)	- 4.1 (- 188)		
北	見	37,576	142	32.1 (12,066)	24.9 (13,338)	- 7.2 (1,272)		
浦	幌	7,187	105	28.9 (2,076)	24.9 (1,883)	- 4.0 (- 193)	10.2	
豊	富	4,824	95	29.7 (1,439)	24.7 (1,134)	- 5.0 (- 305)		11.7
鹿	追	5,842	88	31.7 (1,852)	24.7 (1,278)	- 7.0 (- 574)		
遠	軽	10,488	129	30.9 (3,240)	24.6 (3,335)	- 6.3 (95)		
	泊	5,035	51	41.6 (2,097)	24.6 (637)	-17.0 (- 1,460)		
西	興	2,280	80	29.8 (679)	24.5 (448)	- 5.3 (- 231)	13.0	
清	部	8,573	111	34.1 (2,921)	24.4 (2,333)	- 9.7 (- 588)		
虹	水	6,145	140	22.9 (1,406)	24.2 (2,086)	1.3 (680)		
鷹	田	5,589	97	26.9 (1,504)	24.2 (1,318)	- 2.7 (- 186)		
厚	栖	5,360	99	19.5 (1,044)	24.1 (1,289)	4.6 (245)	13.3	
上	部	8,153	88	23.6 (1,928)	24.0 (1,736)	0.4 (- 192)		10.5
中	富	5,831	93	16.4 (956)	24.0 (1,303)	7.6 (347)		
紋	良	21,397	113	28.9 (6,191)	23.9 (5,785)	- 5.0 (- 406)		
苦	野	5,899	95	19.2 (1,134)	23.9 (1,354)	4.7 (220)		
白	前	6,605	183	17.0 (1,121)	23.7 (2,877)	6.7 (1,756)		
東	老	4,419	117	21.8 (965)	23.6 (1,231)	1.8 (266)		
佐	栖	8,081	86	30.8 (2,487)	23.5 (1,641)	- 7.3 (- 846)	10.8	
小	間	7,814	72	24.1 (1,881)	23.5 (1,334)	- 0.6 (- 547)		13.0
当	平	7,531	100	13.3 (1,002)	23.4 (1,774)	10.1 (772)		
寿	麻	5,459	83	25.8 (1,411)	23.4 (1,066)	- 2.4 (- 345)		
小	都	113,344	120	29.5 (33,467)	23.3 (31,746)	- 6.2 (- 1,721)		
名	樽	21,073	108	27.0 (5,694)	23.3 (5,334)	- 3.7 (- 360)		
	寄							

市 町 村	35 年 有権者数	35年有権者 数を100と した44年有 権者数	35年得票率(数)	44年得票率(数)	35年得票率(数)と 44年得票率(数)と の差	林業木材業	鉱 業
熊 岩 網 音 歌 静 上 亀 苦 上 雄 ニ 当 木 余 厚 岩 滝 浦 興 帯 美	4,188 34,277 24,535 13,250 3,357 10,802 5,827 10,049 32,037 14,129 5,531 4,498 10,521 7,108 15,395 3,164 13,420 18,683 11,386 4,831 59,130 14,775	97 129 111 118 88 136 107 280 196 117 98 84 112 100 115 84 120 142 112 100 190 113	15.9 (655) 29.2 (10,009) 24.8 (6,095) 25.3 (3,358) 27.9 (935) 25.7 (2,777) 24.3 (1,417) 28.3 (2,844) 33.3 (10,676) 24.9 (3,516) 28.5 (1,578) 31.1 (1,397) 24.8 (2,607) 23.7 (1,688) 27.5 (4,234) 17.4 (552) 25.8 (3,467) 28.5 (5,323) 28.3 (3,226) 30.5 (1,474) 27.1 (16,018) 27.3 (4,037)	23.3 (955) 23.2 (10,308) 23.1 (6,315) 22.9 (3,605) 22.8 (681) 22.6 (3,314) 22.5 (1,402) 22.4 (6,326) 22.3 (14,041) 22.2 (3,689) 22.2 (1,208) 22.2 (847) 22.0 (2,618) 22.0 (1,567) 21.8 (3,860) 21.8 (583) 21.7 (3,519) 21.7 (5,753) 21.5 (2,735) 21.5 (1,040) 21.4 (17,760) 21.4 (3,604)	7.4 (300) - 6.0 (299) - 1.0 (220) - 2.4 (247) - 5.1 (- 254) - 3.1 (537) - 1.8 (- 15) - 5.9 (3,482) -11.0 (3,365) - 2.7 (173) - 6.3 (- 370) - 8.9 (- 550) - 2.8 (11) - 1.7 (- 121) - 5.7 (- 374) 4.4 (31) - 4.1 (352) - 6.8 (- 430) - 6.8 (- 491) - 9.0 (- 434) - 5.7 (- 1,742) - 5.9 (- 433)	9.2+ α 15.2 11.4	

市 町 村	35 年 有権者数	35年有権者 数を100と した44年有 権者数	35年得票率(数)	44年得票率(数)	35年得票率(数)と 44年得票率(数)と の差	林業木材業	鉱 業
乙 部	4,702	102	16.7 (783)	18.5 (891)	1.8 (108)		
常 呂	5,066	93	25.0 (1,264)	18.5 (873)	- 6.5 (- 391)		
栗 山	12,425	110	20.3 (2,527)	18.3 (2,509)	- 2.0 (- 18)		
枝 幸	6,441	101	23.1 (1,490)	18.3 (1,198)	- 4.8 (- 292)		
上 富 良 野	10,244	99	16.2 (1,653)	18.2 (1,860)	2.0 (207)		
増 毛	8,286	92	23.0 (1,908)	18.1 (1,394)	- 4.9 (- 514)		
羅 白	3,458	137	15.2 (524)	18.1 (858)	2.9 (334)		
函 館	148,112	111	23.4 (34,671)	18.0 (29,793)	- 5.4 (- 4,878)		
大 野	5,867	102	14.7 (861)	18.0 (1,084)	3.3 (- 223)		
羽 幌	15,292	104	14.6 (2,240)	17.8 (2,830)	3.2 (- 590)		26.0
豊 浦	5,436	97	17.1 (928)	17.7 (945)	0.6 (- 17)		
留 萌	20,049	124	25.9 (5,196)	17.6 (4,413)	- 8.3 (- 783)		
美 深	7,432	102	18.3 (1,363)	17.5 (1,330)	- 0.8 (- 33)	18.2	
石 狩	4,713	133	19.1 (933)	17.2 (1,083)	- 1.9 (150)		
江 部 乙	5,318	95	18.9 (1,005)	17.2 (872)	- 1.7 (- 133)		
北 桧 山	6,495	92	16.9 (1,096)	17.0 (1,017)	0.1 (- 79)		
月 形	4,827	89	22.8 (1,101)	17.0 (731)	- 1.8 (- 370)		
新 十 津 川	8,228	87	18.0 (1,478)	16.6 (1,194)	- 1.4 (- 284)		
幌 泉	5,091	98	21.5 (1,096)	16.5 (826)	- 5.0 (- 270)		
幌 加 内	5,788	74	16.5 (955)	16.3 (703)	- 0.2 (- 252)		
端 野	4,313	93	24.4 (1,054)	16.1 (646)	- 8.3 (- 408)		
森	12,142	100	14.4 (1,743)	15.4 (1,891)	1.0 (148)		

1960年代における林業地帯の社会党票

長	沼	9,637	101	14.4 (1,388)	15.4 (1,505)	1.0 (117)
風	連	6,603	90	18.5 (1,221)	15.4 (920)	- 2.9 (- 301)
稚	内	27,308	133	27.2 (7,420)	15.3 (5,582)	-11.9 (- 1,838)
浦	白	3,551	93	17.0 (603)	15.1 (501)	- 1.9 (- 102)
雨	竜	3,593	94	16.7 (600)	15.0 (507)	- 1.7 (- 93)
広	尾	6,238	113	26.4 (1,647)	14.8 (1,049)	-11.6 (- 598)
瀬	棚	2,831	98	15.1 (427)	14.6 (408)	- 0.5 (- 19)
多	志	3,302	81	13.1 (431)	14.4 (387)	1.3 (- 44)
鹿	部	2,634	103	11.5 (303)	14.3 (390)	2.8 (87)
沼	田	10,202	57	37.3 (3,809)	14.1 (832)	-23.2 (- 2,977)
妹	牛	4,904	101	15.3 (751)	13.8 (655)	- 1.5 (- 96)
新	津	2,449	115	24.2 (592)	13.7 (396)	-10.5 (- 196)
礼	文	4,645	86	13.0 (605)	13.4 (539)	0.4 (- 69)
洞	爺	1,997	95	11.1 (222)	13.4 (258)	2.3 (- 36)
古	平	5,686	88	17.3 (984)	13.3 (668)	- 3.7 (- 316)
北	竜	3,330	88	15.3 (509)	13.0 (380)	- 2.3 (- 129)
秩	別	3,602	94	13.0 (467)	12.6 (428)	- 0.4 (- 39)
利	尻	4,862	81	12.2 (594)	11.7 (467)	- 0.5 (- 127)
知	内	5,009	100	11.0 (553)	11.4 (575)	0.4 (22)
砂	原	3,881	106	9.8 (381)	11.4 (469)	1.6 (88)
東	尻	5,279	76	13.3 (700)	11.3 (454)	- 2.0 (- 246)
南	部	7,121	97	7.4 (526)	10.6 (736)	3.2 (210)
千	歳	31,426	114	18.3 (5,739)	10.4 (5,600)	- 7.9 (- 139)
福	島	6,950	102	10.2 (711)	10.4 (735)	0.2 (- 24)
大	成	3,533	95	11.2 (396)	10.4 (350)	- 0.8 (- 46)

21.1

栄
資

市 町 村	35 年 有権者数	35年有権者 数を100と した44年有 権者数	35年得票率(数)	44年得票率(数)	35年得票率(数)と 44年得票率(数)と の差	林業木材業	鉱 業
南 幌	4,173	98	12.3 (515)	10.1 (415)	- 2.2 (- 100)		
松 前	11,059	106	9.0 (994)	9.6 (1,126)	0.6 (- 132)		
尻 岸 内	4,783	101	7.7 (370)	9.0 (439)	- 1.3 (- 69)		
奥 尻	4,061	102	15.9 (644)	8.6 (359)	- 7.3 (- 285)		
北	4,065	99	11.9 (483)	8.1 (328)	- 3.8 (- 155)		
戸 井	4,186	97	6.6 (275)	7.9 (331)	- 1.3 (- 56)		
鞆 法 華	1,898	97	7.6 (145)	5.0 (92)	- 2.6 (- 53)		

第1図 44年衆議院選挙における社会党の得票率

—45.0	44.9—42.5	42.4—40.0	39.9—37.5	37.4—35.0	34.9—32.5	32.4—30.0	29.9—27.5	27.4—25.0	24.9—22.5	22.4—20.0	19.9—17.5	17.4—15.0	14.9—12.5	12.4—10.0	9.9—
東 神 来 ※阿 桑 中 札 内	江 登 瀬 瀬	▲上 川 ※上 砂 川 追 分 神 恵 内	●三 登 ▲下 川 ※九 洲 市 ※香 野 音 威 子 府 池 田	※夕 張 ※歌 志 内 ▲南 富 良 野 朝 日 上 士 幌 登 別	※赤 平 ▲留 辺 美 浜 益 東 川	砂 川 鋼 路 ▲置 戸 南 里 生 田 原 浜 頓 別 占 冠 新 得 滝 白 滝 足 利 栗 茶 會 野 部 共 厚 南 越 斜 里 忠 大 黒 松 内	※芦 別 ※美 頃 ▲陸 別 中 頓 別 滝 上 崎 田 占 冠 白 旗 弟 子 沢 芽 室 大 滝 中 川 赤 井 川 俱 知 安 善 茂 別 鏡 延 ※北 警 小 南 水 和 寒 長 万 部 更 別 中 野 津	江 別 北 見 教 別 小 樽 名 寄 岩 見 沢 網 走 ▲日 高 ※陸 別 標 津 平 取 ※狼 弘 芽 室 大 滝 赤 井 川 仁 木 本 別 廣 島 鏡 延 小 南 水 和 寒 長 万 部 更 別 中 野 津	北 見 教 別 小 樽 名 寄 岩 見 沢 網 走 ▲日 高 ※陸 別 標 津 平 取 ※狼 弘 芽 室 大 滝 赤 井 川 仁 木 本 別 廣 島 鏡 延 小 南 水 和 寒 長 万 部 更 別 中 野 津	北 見 教 別 小 樽 名 寄 岩 見 沢 網 走 ▲日 高 ※陸 別 標 津 平 取 ※狼 弘 芽 室 大 滝 赤 井 川 仁 木 本 別 廣 島 鏡 延 小 南 水 和 寒 長 万 部 更 別 中 野 津	北 見 教 別 小 樽 名 寄 岩 見 沢 網 走 ▲日 高 ※陸 別 標 津 平 取 ※狼 弘 芽 室 大 滝 赤 井 川 仁 木 本 別 廣 島 鏡 延 小 南 水 和 寒 長 万 部 更 別 中 野 津	北 見 教 別 小 樽 名 寄 岩 見 沢 網 走 ▲日 高 ※陸 別 標 津 平 取 ※狼 弘 芽 室 大 滝 赤 井 川 仁 木 本 別 廣 島 鏡 延 小 南 水 和 寒 長 万 部 更 別 中 野 津	北 見 教 別 小 樽 名 寄 岩 見 沢 網 走 ▲日 高 ※陸 別 標 津 平 取 ※狼 弘 芽 室 大 滝 赤 井 川 仁 木 本 別 廣 島 鏡 延 小 南 水 和 寒 長 万 部 更 別 中 野 津	北 見 教 別 小 樽 名 寄 岩 見 沢 網 走 ▲日 高 ※陸 別 標 津 平 取 ※狼 弘 芽 室 大 滝 赤 井 川 仁 木 本 別 廣 島 鏡 延 小 南 水 和 寒 長 万 部 更 別 中 野 津	北 見 教 別 小 樽 名 寄 岩 見 沢 網 走 ▲日 高 ※陸 別 標 津 平 取 ※狼 弘 芽 室 大 滝 赤 井 川 仁 木 本 別 廣 島 鏡 延 小 南 水 和 寒 長 万 部 更 別 中 野 津

1960年代における林業地帯の社会党票

- 得票率は2.5%ごとに刻まれ、左側に行くに従って高くなっている。
- 市郡は上の方へ上げ、ワタでかこみ、その左上に●印を附した。
- 林業地帯の町村は、市郡の次におき、ワタでかこみ、その左上に▲印を附した。
- 林業地帯の市町村は市町村名の左に※を附した。

北林21(1・107)107